

1. 植 物

本計画においては、第3節において述べるように、「自然環境質指数」を設定したうえで、これを運用するものであるが、この「自然環境質指数」を構成する要素として、「植物自然充実度」を設定した。この「植物自然充実度」は、植生図を基礎に、植生評価を行ったうえで、算出した。

〔植 生 図〕

植生図からみた本県の主な植物群落は、65群落（開放水域を1群落とした。）に区分することができる。また、地帯別にその生育分布に特色があることから6地帯に区分して植物の状況をみると、次のとおりである。

植 生 状 況

植 生 の 成 立 条 件	主 な 植 生 が 存 在 す る 場 所
冬季の季節風から守られ、土壌が深く肥沃な所 砂 浜 入江になっている浅瀬 断崖の多い浅土の磯浜海岸 } 岩礫地 海蝕崖 上記以外の比較的自然が良く保護されている所	島しょ、岬端など 仙台湾（松島湾を除く。）の砂浜 鳥の海、広浦 松島、牡鹿半島、南三陸 } 牡鹿半島、南三陸 松島、牡鹿半島、南三陸 牡鹿半島、北部沿岸地域
農家の屋敷の周辺や水田に接する山ぎわなどの沼沢地 池や沼の周辺部、河川の滞水域 池や沼の中央部 河川の洲 中河川の川べり	平野地帯一帯（※） 伊豆沼、内沼、長沼、蕪栗沼、北上川、阿武隈川、追波川 伊豆沼、内沼、長沼、化女沼 北上川、阿武隈川、追波川 江合川、鳴瀬川、名取川
自然が最も良く保護されている所 伐採された後に二次的に生じる やや乾燥し易い、斜面中部から尾根に植林 やや湿潤な斜面下部や沢筋に植林 暖温带域で自然が最も良く保護されている所	丘陵地帯一帯 " " " 阿武隈山地の丘陵地帯